

令和4年度 予防接種事業計画

【定期予防接種(A類疾病(旧一類疾病))】

予防接種名		対象年齢	標準的な接種期間	間隔及び回数	集団/個別	注意事項	
四種混合 ジフテリア 百日せき 破傷風 不活化ポリオ	初回	生後3月～90月に至るまで	生後3月～生後12月に達するまで	20日以上(標準的には56日まで)の間隔で3回	個別 (年間)	・三種混合と不活化ポリオの接種回数が同じであれば四種混合で接種できる。生ポリオ接種済みの者は、三種混合の未接種回数を三種混合及び四種混合で接種できる。	
	追加		1期初回接種(3回)終了後 12月～18月に達するまで	1回			
二種混合 ジフテリア 破傷風	2期	11歳～13歳未満	11歳	1回		・予診票は11歳になった次の月に郵送する。 ・原則として三種混合または四種混合の1期(4回または3回)が完了している者へ接種する。 ・接種量に注意する。	
不活化 ポリオ	初回	生後3～90月に至るまで	生後3月～生後12月に達するまで	20日以上(標準的には56日まで)の間隔で3回	個別 (年間)	・生ポリオ接種済みの者は、三種混合の未接種回数を三種混合及び四種混合で接種できる。	
	追加		1期初回接種(3回)終了後、1 2月～18月までの間隔をおく	1回			
麻しん 風しん混合 麻しん 風しん	1期	生後12月～24月に至るまで		1回	個別 (年間)		
	2期	5～7歳未満の小学校就学前1年間		1回			
	5期	昭和37年4月2日生～昭和54年4月1日生まれの男性(※風しんに係る抗体検査を受けた結果、十分な量の風しんの抗体があることが判明し、当該予防接種を行う必要がないと認められる者を除く)		1回	個別 (年間)		
日本脳炎	1期	初回 追加	生後6月～90月に至るまで	3歳	6日以上(標準的には28日まで)の間隔で2回	個別 (年間)	・接種方法は「予防接種Q&A2021」を参照。 ・3歳未満の接種量に注意する。 ・接種方法は「予防接種Q&A2021」を参照。 ・予診票は随時保健センターにて発行する。 ・接種方法は「予防接種Q&A2021」を参照。 ・予診票は随時保健センターにて発行する。
				4歳 (1期初回終了後6月以上(標準的には1年)おく)	1回		
	2期	9～13歳未満	9歳	1回			
	特例		①平成7年4月2日～平成19年4月1日生まれは20歳未満 ②平成19年4月2日～平成21年10月1日生まれで1期未接種分を9歳以上13歳未満で接種				
BCG		1歳に至るまで	生後5月～8月に達するまで	1回	個別 (年間)		
水痘	初回	生後12～36月に至るまで	生後12月～生後15月に達するまで	1回	個別 (年間)	・過去に水痘に罹患した者、水痘の予防接種を規定の間隔で2回接種済みの者は除外する。	
	追加		初回接種終了後、6月～12月までの間隔をおく	1回			

定期予防接種

【定期予防接種(A類疾病:旧一類疾病)】

	予防接種名	対象年齢	標準的な接種期間	間隔及び回数	集団/個別	注意事項	
定期 予防 接種	ヒブ	生後2～60月に至るまで	接種開始: 生後2月～7月未満	27日以上(標準的には56日まで)の間隔で3回	個別 (年間)	<ul style="list-style-type: none"> 接種開始時期により接種回数異なるため注意。 接種開始:7か月～1歳未満 初回免疫2回+追加免疫1回 接種開始:1歳～5歳未満 1回 初回接種(2回目・3回目)は、生後12月に至るまでに行い、12月を超えた場合は行わない。 追加接種は、初回接種を終了せずに生後12月を超えた場合、初回接種に係る最後の注射後27日(医師が必要とするときは20日)以上おく。 	
			初回終了後7月以上の間隔をおく	1回			
	小児用肺炎球菌	生後2～60月に至るまで	接種開始: 生後2月～7月未満 (生後24月未満で終了)	27日以上の間隔で3回	個別 (年間)	<ul style="list-style-type: none"> 接種開始が生後2月～7月未満の場合で初回2回目の接種が生後12月を超えた場合、初回3回目の接種は行わない。 接種開始時期により接種回数異なるため注意。 接種開始:7か月～1歳未満 初回2回+追加1回 接種開始:1歳～2歳未満 2回 接種開始:2歳～5歳未満 1回 	
			初回終了後60日以上の間隔をおいて生後12月以降(生後12月～15月の間)	1回			
	子宮頸がん	サーバリックス	小学校6年生～ 高校1年生の女子	中学1年生	3回	個別 (年間)	<ul style="list-style-type: none"> 予診票は市が発行するものを使用する。 3回とも同一ワクチンの接種を行う。 年度内に3回終了するために9月末までに接種を開始する。
		ガーダシル		中学1年生	3回		
B型肝炎		1歳に至るまで	生後2～9月に達するまで	3回 27日以上の間隔で2回 1回目の接種から139日以上の間隔で1回	個別 (年間)	<ul style="list-style-type: none"> HBs抗原陽性者の妊婦から生まれた乳児として健康保険によりB型肝炎ワクチンの投与(抗HBs人免疫グロブリンを併用)の全部又は一部を受けた者は除外する。 	
ロタ(ロタリックス、ロタテック)	ロタリックス:生後6週～24週未満 ロタテック:生後6週～32週未満			ロタリックス:4週間以上の間隔をおいて2回経口接種 ロタテック:4週間以上の間隔をおいて3回経口接種	個別 (年間)	<ul style="list-style-type: none"> 標準的には2か月から接種を開始する。 初回接種は、生後2月から生後14週6日までに行う。 原則として同一ワクチンを接種する。 	

【定期予防接種(B類疾病:旧二類疾病)】

	予防接種名	対象年齢	標準的な接種期間	接種方法	集団/個別	注意事項
定期 予防 接種	インフルエンザ	・65歳以上 ・60歳から64歳で身体障害者手帳1級(内臓疾患)相当			個別 (10～12月)	<ul style="list-style-type: none"> 60歳以上65歳未満の左記の対象者へは、報告時に【定期対象者】様式の添付をお願いします。 接種期間は10月1日から12月31日までとする(ワクチンの供給状況により変動する場合があります)。 減免対象者は、左記対象者で生活保護世帯の者とし、事前申請により決定通知書を持参される。 インフルエンザワクチンと新型コロナウイルスワクチンは同時に接種することはできません。互いに、片方のワクチンを受けてから2週間後に接種できます。
	高齢者の肺炎球菌	・年度内に65、70、75、80、85、90、95、100歳を迎える者 ・60歳から64歳で身体障害者手帳1級(内臓疾患)相当			1回	個別 (年間)

【任意予防接種(B類疾病:旧二類疾病)】

	予防接種名	対象年齢	標準的な接種期間	接種方法	集団/個別	注意事項
任意 予防 接種	インフルエンザ	満18歳以下		1～4週の間隔で 1～2回	個別 (10～12月)	<ul style="list-style-type: none"> より高い免疫効果を得るには、3～4週間の間隔が望ましい。 接種期間は10月1日から12月31日までとする(ワクチンの供給状況により変動する場合があります)。